



第26回 「Introduction to agent skills」 Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

人に渡す

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Introduction to agent skills ／ Sharing skills

自分だけが使うスキルを、チームや会社へ渡す回です

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第26回



Introduction to agent skills の第5回

原題 Sharing skills

訳 人に渡す

同じものをチーム全体で分け合えば、やり方がそろいます

① 記録に入れて配る



原石工房

原題 Committing Skills to Your Repository

いちばん簡単なやり方

.claude フォルダに入っているもの

担当

フック

スキル

設定

どれも記録で版が追え、ふだんのやりとりでチームに行き渡ります

持ってきた人は、ひとりでにそのスキルも手に入れる
入れる手間はいりません

新しくしたものを押し込めば、次に持ってきたときに行き渡ります

向いているもの チームで決めた書き方／そのプロジェクトだけの進め方
自分たちのプログラムの並びを前提にしたスキル

記録に入れるだけで、分け合える

.claude/skills に置けば、持ってきた人がひとりでに手に入れます

入れる手間はいいりません。新しくすれば、次に持ってきたときに行き渡ります

チームで決めた書き方、そのプロジェクトだけの進め方に向きます

① .claude の中身



原石工房

いちばん簡単なやり方

.claude フォルダに入っているもの

担当

フック

スキル

設定

どれも記録で版が追え、ふだんのやりとりでチームに行き渡ります

持ってきた人は、ひとりでにそのスキルも手に入れる
入れる手間はいりません

新しくしたものを押し込めば、次に持ってきたときに行き渡ります

向いているもの チームで決めた書き方／そのプロジェクトだけの進め方

自分たちのプログラムの並びを前提にしたスキル

記録に入れるだけで、分け合える

担当・フック・スキル・設定が入っています

どれも記録で版が追えます

ふだんのやりとりで、チームに行き渡ります

② プラグインで配る



原石工房

原題 Distributing Skills Through Plugins

どこまで行き渡らせたいかで選ぶ

① 記録に入れる

.claude/skills に置く

持ってきた人は、ひとりでに手に入れる。入れる手間は知らない

チームで決めた書き方、そのプロジェクトだけの進め方

② プラグインで配る

配り場へ出す

プロジェクトをまたいで、身内の外の人にも渡せる

プロジェクトに寄りすぎでないスキル

③ 会社の管理設定

会社じゅうへ

優先順位はいちばん上。同じ名前なら、ほかを押しのける

必ず守らせたい決まり、安全のための求め

プラグインの中に skills フォルダを作ります。並びは .claude と同じです

1つのスキルにつき1フォルダ、その中に SKILL.md を置きます

配り場へ出せば、ほかの人が見つけて入れられます

肝心な言葉は「でなければならない」

③ 会社ぐるみで配る



原石工房

原題 Enterprise Deployment Through Managed Settings

どこまで行き渡らせたいかで選ぶ

① 記録に入れる .claude/skills に置く

持ってきた人は、ひとりでに手に入れる。入れる手間は知らない

チームで決めた書き方、そのプロジェクトだけの進め方

② プラグインで配る 配り場へ出す

プロジェクトをまたいで、身内の外の人にも渡せる

プロジェクトに寄りすぎでないスキル

③ 会社の管理設定 会社じゅうへ

優先順位はいちばん上。同じ名前なら、ほかを押しのける

必ず守らせたい決まり、安全のための求め

管理設定を通して、会社じゅうに行き渡らせられます

会社のスキルは、優先順位がいちばん上です

必ず守らせたい決まり、安全のための求め、守り方の取り決めに使います

肝心な言葉は「でなければならない」



記録に入れる

チームへ

.claude/skills に置く。持ってきた人が、ひとりでの手に入れる

プラグインで配る

その外へ

配り場へ出す。身内の外の人にも渡せる

会社の管理設定

会社じゅうへ

優先順位はいちばん上。必ず守らせたい決まりに

どこまで行き渡らせたいかで選ぶ

④ サブエージェントは、勝手に見ない



原石工房

原題 Skills and Subagents

みんなが驚くところ

サブエージェントは、こちらのスキルを勝手には見ない
任せると、まっさらなところから始まります

もともと入っている担当
スキルをまったく使えない
Explorer・Plan・Verify など

自分で作ったサブエージェント
使える。名前を並べたときだけ
.claude/agents に置いたもの

読み込まれるとき
始まるときに、まとめて
要るときに読む形ではありません

担当のファイルの skills の欄に、読み込むスキルを並べます

並べなければ、何も持っていない

仕事を任せると、サブエージェント
はまっさらなところから始まります

もともと入っている担当は、スキル
をまったく使えません

自分で作ったサブエージェントだけ
が、名前を並べたときに使えます

④ 読み込まれるとき



原石工房

みんなが驚くところ

サブエージェントは、こちらのスキルを勝手には見ない
任せると、まっさらなところから始まります

もともと入っている担当
スキルをまったく使えない
Explorer・Plan・Verify など

自分で作ったサブエージェント
使える。名前を並べたときだけ
.claude/agents に置いたもの

読み込まれるとき
始まるときに、まとめて
要るときに読む形ではありません

担当のファイルの skills の欄に、読み込むスキルを並べます

スキルは、サブエージェントが始まる
ときに読み込まれます

もとのやりとりのように、要るとき
に読み込まれるわけではありません

まず .claude/skills にそのスキルが
あることを確かめます

並べなければ、何も持っていない

④ 担当のファイルに skills を書く



原石工房

.claude/agents に置く担当のファイル

name	その担当の名前
description	いつ任せるか
tools	使わせる道具
model	どのモデルで動かすか
skills	読み込むスキルを並べる

/agents と打つと、やりとりしながら作れます

先に .claude/skills にそのスキルがあることを確かめます

効くのは 前側と裏側で違うスキルを持たせたいとき
頼み方に頼らず、任せた仕事でも決まりを守らせたいとき

.claude/agents に担当の文書ファイルを足します

/agents と打つと、やりとりしながら作れます

札書きの skills の欄に、読み込むスキルを並べます

skills の欄が、持たせる口

④ この形が効くとき



原石工房

切り離して任せたい仕事に、決まった専門の知識を持たせたいとき

サブエージェントごとに、違うスキルが要るとき

頼み方に頼らずに、任せた仕事でも決まりを守らせたいとき

今回のまとめ



原石工房

記録に入れば、持ってきた人みんなに行き渡る

プラグインなら、プロジェクトをまたいで配れる

会社の管理設定は、優先順位がいちばん上

サブエージェントは、こちらのスキルを勝手には見ない

もともと入っている担当は、スキルをまったく使えない



Introduction to agent skills の第6回（最終回）

原題 Troubleshooting skills

訳 うまく動かないとき

動いてくれない・読み込まれない・ぶつかる・途中で止まるの直し方です

全51回の、27回目です

あなたのスキルは、誰まで届けばいいですか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く